

## 金刀比羅宮と 五人百姓 加美代飴

### 五人百姓 28代目

金刀比羅宮と五人百姓は  
どういう関係ですか。

五人百姓とは、金刀比羅宮の御祭神にお供してきた5軒の家筋のことです。「百姓」には「神事の百の何でもできる人」という意味が込められており、先祖代々数千年の間、神事のお手伝いを続けてきたことから境内で唯一商売を許可され、ご利益飴である「加美代



境内の中で飴を販売する五人百姓



加美代飴



五人百姓 池商店 28代目  
池 龍太郎さん

2015年経済学部卒。  
体育会弓道部に所属。卒業後、香川の銀行に就職。琴平町役場に転職。コロナ禍を機に家業を継承。歴史と伝統を繋ぐ語り部としても活動する。

飴」の製造販売を行っています。私で五人百姓 池商店の28代目になります。加美代飴の「加美代」とは「神代」のこと。参拝がなくなった人々が買つて帰り、付属の小槌でコンと割り、ご利益を周囲の人々に分け与えることができます。私は参道で生まれ石段を駆け回りながら地域の方に見守られて育ちました。家族が神事を守り、飴を使って金刀比羅宮のことを世界へ広める姿をずっと見てきました。

### 関学弓道部は人生の宝

香川県からどうして  
関学を選んだのですか。

高校から弓道を始め、香川県総体で優勝しインターハイに出場、香川県選手団の旗手をさせていただきました。卒業後も全力で弓道ができる環境を探していたところ、お世話になった

先輩から声をかけていただいたこともあり、関学体育会弓道部に入部しました。4年間をかけて全員が全力で弓道ができ、心から関学弓道部に入つて良かったと思える部を目指しました。主将を務め、体育会学生本部や「関学スポーツ」編集部、他の部の同級生達とも熱く意見交換をする充実した毎日を過ごしました。全員一丸となった関学弓道部は全国2位となりました。自分達が引退する日、最初に話した1年生が「この部活に入つて本当に良かったです」と泣きながら言うてくれました。それは、その子が引退する時に言ってくれたら良いなと思っていた言葉でした。そして他の部員から同様の言葉を聞くことができたあの日のことは一生忘れません。

社会人になつても弓道を受け、母校の高校の指導をしながら世界大会にも出場させていただきました。関学で過ごした4年間は私の人生の宝です。



弓道部時代 試合



弓道部時代 全日本学生弓道選手権大会 準優勝時

## 卒業後は自然に地元へ

卒業後は地元へ帰られたのですね。

五人百姓として神事のお手伝いを務めていることもあり、卒業後は地元に戻ると決めていました。まずは地域の企業のために働こうと思えば銀行に就職しました。その後、より地域に密着した仕事をしたいと思い、地元の琴平町役場へ転職。企画・危機管理・子育て支援担当を務め、生まれ育った町の現状や課題、守るべき文化など多くのことを学びました。

## 家業を継ぐ

家業を継ごうと思っただけは、何ですか。

きっかけは二つあります。一つはコロナ禍です。金刀比羅宮という観光資源を持つこの町も大打撃を受け、臨時休業や廃業を余儀なくされる店舗、石段の間から伸びる雑草、普段は明るい参道が暗い話題ばかりとなりました。

もう一つは高校時代の親友が何の予兆もなく心臓が止まり急死しました。最後に会ったのは私の結婚式でした。墓参りに訪れたとき、学生時代に何度もお世話になったご両親から忘れられ



加美代館の実演

ない言葉をいただきました。「やりたいと思っていることはあるかい？あるならやれる時にやっておきなさい。人生は何があるかわからない。明日はできないかもしれない。何かを始めるにしても、今が一番若いから」

そこで自分の中の人生のエンジンがかかりました。家業を未来に残す必要と地域のため自分にできること、本当にやるべきことは何かと考え、いつかやろうと思っていた店舗の全面改装に取り掛かりました。

「人生に一度はこんぴら参り」から「人生に何度でも訪れたい町」へ

2021年、リニューアルした店舗が完成。加美代館の製造を見学できるようにし、カフェスタンドを併設し館を使ったスイーツやドリンクを提供。地元の方も若い方も館に触れることができ、五人百姓を知るきっかけになれ

ばと考えました。また、参拝や街歩きが何倍も楽しくなるようなお話を聞ける体験や、自分でご利益を持って帰ることが出来る館造り体験を開始。旅行会社とも提携し、香川県に來たいと思うきっかけとなるような講演を全国各地で行っています。また地元の各種団体や高校、香川大学において、地元の方が地元を誇り、地元ではない方も香川県のことを好きになっていただけるような講演活動もさせていただいています。

「人生に一度はこんぴら参り」という言葉を「石段が大変だから一度行けばいい場所」という使い方をされる方がいます。決してそうではなく、こんぴら参りは江戸時代に大きく栄え、多くの方が人生で必ず行きたい憧れの地として「人生に一度はこんぴら参り」という言葉は生まれました。あまり知

られていませんが特徴である長い石段は全て、参拝に來たことで良いことがあった人々が、急斜面の山道だった参道を少しでも登りやすいようにと一段一段寄贈してできた優しい結晶です。町には歴史の数だけ物語や見所があります。

コロナ禍を越え、町の地域テーマとして「人生に一度」から「何度でも訪れたい町」を掲げています。そのようなかで、現代を生きる五人百姓として自分にできることは、これまでのお客様を待つという受け身の姿勢から、自分から外へと出ていき、金刀比羅宮だけでなく香川の歴史や文化、その魅力を伝えていくことが使命だと思っています。

事業者同志による「こんぴら十帖」という活動も生まれました。これは毎月十日の金刀比羅宮の縁日に町全体で月替わりの十日限定特別メニューを提供しています。

私は先代から「家業を継げ」と言われたことは一度もありません。先代の背中を見て自分が継ごうと自然と思っただけで、これまで脈々と受け継がれてきた伝統と文化を未来へと繋げるため、「Mastery for Service」の精神のもと、日々全力で取り組んでいます。

同窓生の皆様、是非、こんぴら参りへお越しください。心よりお待ちしております。



店舗外観

## 緑豊かな西アフリカの島から、

## パリオリリンピックへ

## ブレイキンの夢を追う

## 若者を育てる若きダンサー

### 途上国支援の道をめざして

「ブレイキン」としてパリ五輪の競技種目になった  
ブレイクダンスですが、北さんはいつ頃始められたのでしょうか？

私は中高時代から、途上国支援を仕事にしたいと考えていたので、当時日本で唯一、ソーシャルビジネスを専門的に学べるという関学の人間福祉学部社会起業学科を、迷わず志望しました。

入学後、Ballet Dance Companyという、ストリートダンスサークルとしては最大規模のサークルに入りました。ダンス自体は子供のころからバレエ、ヒップホップと経験がありました。が、本格的に打ち込んだのは大学に入ってからです。その頃初めてブレイクダンスというものにしつかりと触れ始めました。そしてサークルの先輩を通じて、自分のダンスの師匠となるプロ

ダンサーの isukiさんに出会います。

一般企業に一度就職をしましたが、師匠との出会いをきっかけに、ダンスを通して自分の夢だった途上国支援に向き合うようになりました。そして、プロのヒップホップダンサーとしてそのルーツを学ぶ過程で、ブレイクダンスにも取り組むようになっていったのです。

地球の反対側はるか遠いカーボベルデ共和国で、五輪選手育成トップコーチに任命されたのは、いったいどんな経緯があったのでしょうか。

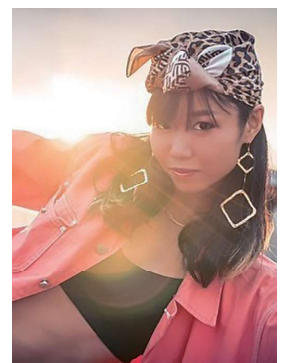
カーボベルデには2021年6月に来ました。日本で代表を務めていたダンススクールでのレッスン業務がオンライン化されたことが、働き方を変えられたきっかけです。

かねてから海外で、影響力のあるダンサーとして活躍したいと考えていた



カーボベルデの子どもたちと笑顔で

私は、ヨーロッパの世界大会でのタイトル獲得という最大の実績を得ようと、そのトレーニング場所を探していました。ヒップホップのルーツである黒人の人々の視点にたつぷり触れられて、ヨーロッパへのアクセスが良いところであれば、どこでもよかったです。そんな中、見つけた国がアフリカのカーボベルデ共和国。「米文化・治安がまだいい・年中気候が良い・大好物のマグロの名産地」という4つの特徴が決めてになりました。実際に来てから半年間この国のダンス文化に触れてみると、ヒップホップに関してはかなり後進国であることがわかりました。そこで自分のトレーニ



北 尚果 (NAOKA) さん

1991年生まれ、兵庫県出身。2011年人間福祉学部社会起業学科に入学。ストリートダンスサークルに所属。卒業後、一般企業就職を経て、2016年(株)Keep it Rightのダンススクール代表に就任。2021年カーボベルデ共和国にダンススタジオ設立。2023年パリ五輪ブレイクダンス競技トップコーチに就任。

ング用として、また現地でのヒップホップダンスの普及を目的に、ダンススタジオを設立し、ダンスバトルイベントの企画や若手ダンサーのプロデュースも行うようになりました。

メディアに何度か取り上げられたり、出演の機会も増えたりしたことで、その実績が認められ、ストリートダンスの先駆者として、2023年にオリリンピック委員会からブレイクダンスのコーチ就任の依頼がきたのです。

**カーボベルデのダンス競技の発展を支え、若者に夢と希望を**  
オリリンピックに向けて  
今後の展望をお聞かせください。

ダンサー人口自体が少ないこの国では、今はダンス技術レベルも十分ではなく、出場予選に出られたらラッキーというレベルです。なので、一番の仕事は指導というより、選手の出場機会の



オリンピック委員会30周年イベントにて。Naokaプロデュースの  
ガールズヒップホップチームが、ゲストパフォーマーとして招待された



カーボベルデオリンピック委員長Filomenaさん(中央)・  
書記長Raulさん(右)とともに

この小さな島国は西アフリカに位置  
していますが、ヨーロッパや南米の文  
化の影響も強く受けており、ラテンの  
明るい音楽、ヨーロッパのインフラ技術、  
アフリカならではの土臭さが程よく混  
ざり合った不思議な風土です。インタ  
ネットを通して情報が集まるため人々  
は高い水準で物事を考えてはいるもの  
の、現状は人材不足や低い資金力に  
よってハリボテのような社会構造で、  
私の仕事もこの2年半、うまく進まな  
いことばかりでした。時間もお金も体  
力も存分に無駄使いしながら、ようや

美しい海に浮かぶ離島  
カーボベルデの地から、日本に向けて  
伝えたいことはありますか？

確保や良い環境で練習ができるよう  
に、コネクションを作っていくことが主  
な活動となっています。春に開催され  
る、2024パリオリンピック最終予  
選に誰か1人でも出場できるように、  
世界ダンス連盟と連絡を取り合いなが  
ら準備を進めているところです。  
また2026年にセネガルのダカ  
ールで開催されるユースオリンピックで  
も、ブレイクダンス競技が採用されて  
います。少なくともこのどちらかへ選  
手を出場させ、カーボベルデという小  
さな島国の若者らの一つの希望にでき  
れば、と考えています。

く形にはなってきた、という感じですが。  
そんな、日本のほとんどの人が知ら  
ない「カーボベルデ」という国では、ほ  
とんどの人が「ジャポン」を知っていま  
す。それは、日本のアニメ人気がこの  
国への開発支援の影響によりです。過  
去に飢饉に見舞われた時日本が食糧支  
援を行ったこと、パラリンピックなど  
の公的機関の構築方法を日本から学ん  
だことなど、多くの人が日本の技術、  
日本の支援、日本の影響を口にしてい  
ます。過去の奴隷貿易の傷跡を大きく  
残すこの国の人たちのマインドに、日  
本が明るく映っていることは、日本人  
としてとてもハッとさせられたことの  
一つです。どんな能力でも、日本人  
という肩書きと掛け合わせることで、  
若者や途上国の人々に希望の的のよう  
に思ってもらえるというのは、ある意  
味日本人の特殊能力だな、と思います。  
日本にいとこういうことに気づく機  
会は少ないですが、そう実感している  
以上は、自分の能力を最大限に活かして、  
時には背伸びしながらでも自分と  
いう存在が誰かの生き方の光になれる  
ような活動を続けていくことができれ  
ば嬉しいと思います。

そして、日本で自分の周りの小さな  
社会で息苦しさや、自分への無価値さ  
を感じている若者に、一つの新しい生  
き方として何か届くものがあれば、と  
願っています。

楽しくびしくレッスン



楽しくびしくレッスン



NAOKA設立のダンススタジオの生徒たちとその保護者。  
イベントを現地の遊園地でやり終えて、みな充実の表情

### ブレイキン＝ ブレイクダンス

今、オリンピック競技として  
注目されるブレイキン。ブレ  
イクダンスとも呼ばれ、  
1970年代にニューヨーク・  
サウスブロンクスの若者たち  
が抗争を平和的に解決する  
手段として生まれました。即興  
で音楽に合わせて踊る多様な  
動きと、その競技性の高さが  
魅力です。

# ラグビー部、 4年ぶりの全国ベスト8

7節



けが人が多い中の試合だったが、フロントローが頑張ってくれた

(兪 瑛士主将)

関学 48 [ 10-0 / 38-7 ] 7 同大

FL 兪瑛士(社4)率いるラグビー部が、4年ぶりに大学選手権へ出場した。チーム目標の関西制覇は成し遂げられなかったものの、全国ベスト8入り。心打つラグビーを体現してみせた。プレッシャーと戦い続けた全9試合。隠された思いに迫った。

戦い抜いた720分。関学は大学選手権準々決勝にて帝京大と対戦した。絶対的王者との戦いに並々ならぬ雰囲気漂う。しかし、試合前の円陣にてキャプテンは仲間にごう伝えた。「日本一、そんな関係ない。出し切ろう」。その言葉通り、朱紺戦士たちは2トライを挙げ体を張り続けた。結果は15-7と大差をつけられての敗北。だが、決して関学ラグビー部の努力が足りなかったわけではない。こらえ切れない涙が、彼らの4年間を証明していた。

9月17日、東大阪市花園ラグビー場にて秋季リーグが開幕した。近大に圧勝し、勢いに乗った兪組は4連勝。万全

大学選手権

3回戦



チャレジヤーマインドを  
忘れずに  
80分間戦えて  
良かった

(小樋山樹監督)

関学 48 [ 31-0 / 17-14 ] 14 福工大

の状態です。昨年度上位3校に挑んだ。しかし、現実には甘くない。京産大、天理大の堅い守りに阻まれ、2試合ともノートライ。目標の関西制覇は絶望的となった。だが最終節・同大戦では、持ち味のディフェンスを発揮し勝利。最終順位は3位となり、4年ぶりに大学選手権への出場権をつかんだ。「関西の代表として恥じない試合をしたい」。喜ぶ間もなく覚悟を決め、兪は夢の舞台へと舵を切った。

迎えた大学選手権。初戦の相手は、九州王者の福工大だった。試合開始早々、関学が先制。その後も流れを渡すことなく、48-14で快勝した。4年ぶりに8強入りを果たすも、兪の表情は硬い。頭の中は次に待ち構える帝京大でいっばいだった。「すべてを懸けて戦わないとほろ負けしてしまう」。キャプテンとしての重圧が彼を襲っていたのだ。

思うようにいかないことはかりだった4年間。新型コロナウイルスの影響で、入学当初は活動自粛を強いられる。

大学選手権

準々決勝



きっと来年は後輩たちが  
BEATしてくれる

(兪 瑛士主将)

関学 15 [ 3-31 / 12-47 ] 78 帝京大

2年生になると徐々に制限が緩和されるも、秋季リーグは全敗で最下位。入れ替え戦を経験した。復活を誓った3年目には、あと一步のところまで全国を逃す。そんな4年生たちとともに歩んできたのが、小樋山樹監督だ。関学の指揮官となつて4年目。特別な思いがあった。一緒に乗り越えてきたという思いが強い。帝京大戦後、泣き崩れる兪と抱擁を交わした。100人を超える大所帯の顔が、背負ってきた重荷は計り知れない。溢れ出すものをこらえることができない主将の姿に、監督の目にも涙が浮かんでいた。

ここで終わらない。依然としてチームには、HOP平生翔大(人3)、CTB松本壮馬(文3)をはじめとする有望株が多数在籍。きっと今よりも良い結果を残してくれると思う。次こそは関西制覇。そして、今季立てなかつた国立競技場の地を踏む。それが後輩たちの決意だ。さあ、4年生が残した夢の続きを描いていこう。

4年間の戦績

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
2023	京産大	天理大	関学	近大	立命大	関大	摂南大	同大
2022	京産大	天理大	同大	関学	近大	立命大	摂南大	関大
2021	京産大	近大	天理大	同大	立命大	関大	摂南大	関学
2020	天理大	同大	京産大	関学	立命大	摂南大	関大	近大



1節



前日は眠れないくらい不安だった  
(兪 瑛士主将)

関学 34 [17-10 / 17-14] 24 近大

2節



彼の能力を信じていた

(小樋山樹監督)

関学 49 [17-24 / 32-10] 34 立命大

3節



固いラグビーをしようと決めていた

(兪 瑛士主将)

関学 37 [20-7 / 17-14] 21 摂南大

4節



リザーブメンバーが  
スイツチを  
入れ直してくれた  
(小樋山樹監督)

関学 44 [15-15 / 29-5] 20 関大

5節



自分たちで首を絞めていた  
(兪 瑛士主将)

関学 9 [9-10 / 0-24] 34 京産大

6節



勝って選手権出場を  
決めたかった  
(兪 瑛士主将)

関学 6 [6-14 / 0-14] 28 天理大

# KG ATHLETICS

2023年度、関学体育会では各部がそれぞれの舞台で輝きを放ちました。  
中でも、輝かしい戦績を収めた9部をご紹介します。

## アメリカンフットボール部 12/17



### 史上初の6連覇達成

三菱電機杯第78回毎日甲子園ボウルに出場。圧倒的な試合展開で史上初の**6連覇**を成し遂げ、悲願の日本一に輝いた。

## スケート部スピード部門 10/21.22



### 数多くのタイトルを独占

スケート部スピード部門は、第96回日本学生氷上競技選手権大会で大奮闘。女子が個人戦で**3タイトル**を獲得するなど、好成績を残した。

## サッカー部男子 9/3~10



### 日本一への挑戦続く

関西選手権を制し、臨んだ第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント。惜しくも**準優勝**となったが日本一への雪辱を誓った。

## バレーボール部女子 9/9~10/22



### 1部昇格後、大躍進

2部からの昇格後、2023年度関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦にて**4位**。上位入りを果たし、存在感を示した。

## 合気道部 11/23



### 圧倒的な力を見せた

第43回関西学生合気道新人競技大会にて、演武部門で**三冠**を達成。乱取部門でも**3位入賞**を果たすなど、それぞれが躍動した。

## ラクロス部女子 11/4



### 関西リーグを連覇!

第33回関西学生ラクロスリーグ戦にて**優勝**。全国大会では惜しくも**ベスト4**での敗退となったが、強敵に勇姿を見つけた。

## 剣道部女子 11/12



### 最後の大会で全力尽くす

剣道部女子は、第42回全日本女子学生剣道優勝大会にて**ベスト8**に輝く。目標としていた日本一は叶わずも、選手たちは全力を尽くした。

## 洋弓部 9/23.24



### さらなる記録を狙う

第61回全日本アーチェリー個人選手権にて梅本(総3)が**ベスト16**を記録した。ここで満足せず、さらなる高みを来年度は目指す。

## 自動車部 8/6~11/12



### 強い関学が復活した

全関西総合杯にて**アベック優勝**を果たした関学は、全日本総合杯でも女子団体が**優勝**、男子団体が**3位**と大きな成長を遂げた。

## 関学スポーツとは

私たち体育会学生本部編集部は体育会唯一の広報機関です。体育会42部49パートの試合に向き、取材を敢行。紙面やSNSアカウント、公式サイト等にて幅広く広報を行っています。関学スポーツは1961年(昭和36年)4月に創刊され、発刊号数は2023年11月で274号を数えます。(途中休刊あり)

## 関学スポーツの全て

### 〈定期購読〉

体育会の活躍を取り上げる紙面をご自宅に年5回、3,000円でお送りするサービスです。お申し込みは、右のQRコードからどうぞ。



▲お申し込みフォーム

### 〈SNSアカウント〉

リアルタイムで試合速報、選手の号外ピラなど、様々な体育会の情報を発信中です。ぜひフォロー＆チェックのほどよろしくお願いいたします!



▲Instagram



▲X(旧 Twitter)